

京田辺市子ども・子育て支援事業計画（素案）に対するパブリックコメント結果

1 パブリックコメント実施概要

(1) 意見募集期間

平成26年12月26日～平成27年1月26日

(2) 意見募集方法

計画（素案）を市ホームページに掲載するとともに、下記の場所で閲覧を実施。ホームページ添付ファイルによる電子メール及び閲覧場所に備え付けの応募用紙により、市民からの意見を募集

【閲覧場所】

市役所子育て支援課・学校教育課、北部住民センター、中部住民センター、三山木福祉会館、市内7保育所（園）、市立8幼稚園、市立9小学校、市立3中学校、府立田辺高等学校、同志社国際中学校・高等学校

(3) 意見募集結果

意見提出者 16人（持参15人、電子メール1人）

意見総数 28件

2 パブリックコメント意見と市の考え方

番号	意見 総数	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	1	<p>今回の事業計画において、新規事業として「利用者支援事業」が組み込まれております。この事業を具体化するにあたり、全てのサービスに繋がるワンストップの窓口を設け、市から積極的に情報発信を行う“プッシュ型”の関わりを展開することで、親御さんの各種サービス利用に対する利便性が高まり、親子で安心して暮らせる「子育て世代に選ばれる」街づくりにつながるのではないのでしょうか。</p>	<p>利用者支援事業につきましては、お寄せいただきましたご意見も参考に、子育て家庭のニーズを把握し円滑に利用できる仕組みづくりを進めたく考えています。</p>
2	1	<p>前項の「ワンストップの窓口」を考えるにあたっては、利用者中心の切れ目のない子育て支援を実現するべく、介護保険のシステムを応用し、介護保険制度下での「ケアマネジャー」のように、子育てについてのコーディネーターを各地域に配置し、妊娠・出産から子育てまで親子とも継続的にサポートする体制の構築を検討してはいかがでしょうかと考えます。</p>	<p>「利用者支援事業」の今後の事業展開を検討する中で、国が構想している「子育て世代包括支援センター」といったような幅広くサポートする性格のものを含め、検討を進めたく考えています。</p>
3	1	<p>現在、京田辺市で展開されている地域包括支援センターと地域子育て支援センターについて、今後双方のセンターの一元化も視野に入れながら、将来的には、高齢者だけでなく子どもも含めた「京田辺式地域包括ケア」の形成を検討していかれてはいかがでしょうか。</p>	<p>まずは、高齢者の地域包括支援センターと子育て世帯に対する地域子育て支援センターを中心に、それぞれの事業を充実させていきます。その中で両センター同士での連携も出てくるものと考えています。</p> <p>今後、事業を進める中で、お寄せいただきました意見も参考とさせていただきます。</p>

4	1	大住地域に公園（遊具）がほしい。歩いて行ける公園が少ない。	お寄せいただきましたご意見は、今後の施設整備の参考にさせていただきます。
5	1	親子と子どもが触れあえる場所・イベントを増やしてほしい。	お寄せいただきましたご意見は、今後の事業実施の参考にさせていただきます。
6	2	「てふてふ」のような室内で遊べる場所のような所がもっとあると良いと思います。出来れば、駐車場が多くあると助かります。	地域子育て支援センターについては、27年度に三山木保育所に支援センターを開設することもあり、一層利用しやすい運営に努めていきます。 子育てひろば事業（「てふてふ」）についても、引き続き積極的に推進していきます。
7	1	京田辺市で利用できる子育て施設の公開をWebなどでわかりやすく検索できるようにしてほしい。	子育て支援に係る情報発信については、ご意見としてお寄せいただいたようにWebの活用についても、検討していきます。
8	1	うちは上の子が来春から幼稚園か保育園に行く年齢になります。下がまだ6ヶ月ですので来春は1歳過ぎです。上の子と一緒に保育園に入れたいと思いますが、入れるか不安です。安心して入れる環境を望みます。	今後も安心して子育てができるように、相談や情報提供、施設整備などに努めていきます。
9	1	「てふてふ」があってすごく助かっています。すごく活発な子どもなので家にいるとしんどいので、ここにくると私自身も息ぬきになっています。 草内あたりにもこういう場があると助かります。車がないので…。 公民館の開放とかあるとうれしい。	地域子育て拠点については、今後も「だれもがいつでも、気軽に利用できる施設」の運営を進めていきたいと考えます。 また、地区公民館を活用した子育て支援事業にも取り組んでいきます。

10	1	<p>「子育て中の母＝サービスの受け手」になりが ちのように感じています。</p> <p>現在の母親たちは、様々な能力・技術を持って おられる方が多いので、それぞれの力を発揮でき れば、更に母親同士で相互に助け合うことや、地 域に貢献することができるのではないかと思っ ています。</p> <p>「なんにもできなくても、子供と遊ぶことは得 意」と言う人がいれば、何かやりたいことがある 母親の子供を預け合ったりして、気軽に開業?と いうか、少し収入につながる活動を公的に支援し て頂ければ、母親＝支援が必要な存在 から 母 親になったからこそ自分を発揮できるようにな るのではないかと思います。</p> <p>「子どもがいるからこそ」、親は学び、成長でき るのだと思います。</p> <p>出産したら、「子どもと一緒に」地域で自分を発揮 できる何かを見つけられるそんな、社会になれば もっと子育てが楽しい、「子育てをしたくなる町 京田辺」になるのではないかな…と思います。</p>	<p>本計画では、「家庭や地域の温かい支えの中で子どもたちが 成長し、世代を超えてすべての市民を結ぶこと」を基本理念 としています。</p> <p>お寄せいただきましたご意見は、その趣旨と同じ方向性を 持つものと考えます。今後の事業実施の参考にさせていただ きます。</p>
11	1	<p>子育てサロンの回数をふやしてほしい。</p>	<p>お寄せいただきましたご意見は、今後の事業実施の参考に させていただきます。</p>

1 2	8	中学校でも給食を実施してほしい。	市議会で趣旨採択された「中学校昼食の実施を求める請願」を受け、中学校昼食等検討委員会ではアンケート調査を実施され、実際に昼食を食べる生徒の80%以上が家庭弁当を望んでいる結果となりました。その後、同委員会で議論を重ね、まとめていただいた提言を基に、平成25年5月から6月にかけてパブリックコメントを実施したところ、デリバリー型の弁当事業を早期に始めてほしい旨の多くの意見をいただき、平成26年1月より選択式注文弁当提供事業を実施しているところです。今後もこの事業を継続していく中で、生徒や保護者の意向を引き続き研究していきたいと考えます。
1 3	1	“スポーツに親しむ日”ですが、大体、同時間帯の為、用事でなかなか行けません。開催日の拡大を希望します。	実施主体である有料公園施設等指定管理者と協議を図り、できる限り多くの方が参加できるように開催日の拡大や開催時間帯の変更等について検討いたします。
1 4	1	小学校の学童保育の人数が決まっていますが、いっぱいになると他校に行かないといけないのですが、登校している小学校で希望者全員がいけるようにしてほしい。	学校施設の活用等によって入会希望者の受入に努めたいと考えております。
1 5	1	小学校の夏休みなどの学童を校区内でしてほしい。一杯だからと言って校区外に回されるのは困る。	夏休み等の長期休業期間中の入会を希望される場合については、定員に余裕のある留守家庭児童会において受入れを行っているところです。
1 6	1	中学校内に売店を作してほしい。	現在のところ設置場所や管理の面から困難と考えます。
1 7	1	室内遊具施設がほしい。	子育て支援拠点施設の充実を進めるにあたり、お寄せいただきましたご意見は、今後の事業実施の参考にさせていただきます。
1 8	1	放課後プランの回数が増えたらいい。	放課後子ども総合プランへの取り組みの中で検討します。

19	1	インフルエンザ等の予防接種を学校で集団接種にできないでしょうか。病院の予約がなかなかとれないことがあります。	個別接種はお子さんの体調のいい時に接種できるメリットがあり、また、病歴や体質、また地域の病気の流行などをよく把握している、かかりつけ医が接種することで効果が上がると考えていることから、本市では個別接種としているところです。
20	1	小学校のトイレをできるだけ洋式に変えてほしいです。	今後、校舎の大規模改修工事等を行う際には、トイレの整備も事業の一部となるものと考えます。